

花まるたより

2023
10

INDEX

- 高滝コラム
- サースクール写真館
- 雪国スケール
- レインボータイム
- 花まるリビングク
- 職人の無人島レポート
- おはなしのキッチン
- 平沼純の旅する読書
- タカラモノはここに
- Rinコラム
- とある花まるの先生が、
わが子の中学受験に直面した
花まるコラム
- 花まるファミリー



まなざし

私はインタビュ好きです。その人がどういう経験をしてどう乗り越えたから今があるのかというリアルな人間ドラマが、それぞれにおもしろい。雑誌やネット番組での有名人相手のものは、各分野で上り詰めていくまでの人生（どういう幼児期だったのか、お母さまはどういう人柄だったのか、どんな経験や逆境を経て今があるのか等々）が興味深く、いつも時間が足りないと感じるほどのめり込みます。

それだけにとどまらず、保護者との面談や子どもたちとの一対一の対話では、子育て家庭のリアルな空気感を知ることができず。たとえばお話しになっているお母さまは、「うちは普通」と思いながら、わが子自慢や悩み・不安を語られるわけですが、そこにはそのお母さま独特の視点や対応も見え、し、「やっぱりみんなそこは共通なんだな」と感じることも多く、飽きることがありません。私の講演会で「先生は、わが家を覗いていたんですか」という感想を書かれることも多いのですが、それは保護者や子どもたちに、のめり込んで聴き入った時間総量のおかげだと思います。

さて、聴き取りへの欲求は、最近では社

員たちの育ちや本音を聞く「タカタコ」や、花まるの経験を経て、どのような大学生や社会人になったのかを聞く「卒業生インタビュ」など、広がるばかりです。そして、一度きりの人生を各人がどう選択・決断し今に至り何を感じているかのドラマは、やはりおもしろくてたまりません。そして今年、卒業生に話を聞いたあと、追加でお母さまに来ていただいて、お話を聞くというこまで起こりました。

慶応大学のSFCで、社会起業家を目指すNさんなのですが、聴けば聴くほど謎が深まったのです。彼女にはLD（学習障がい）のなかの、かなり明確な識字障がいがあります。子ども時代には、「普通の文章を読んでいると、こう見えたんです」と、一般人に理解してもらうために描いたゴチャゴチャの線は、説得力がありました。幼少期から中学生の途中までは、授業は基本的に講義の形で進むので、音声言語に集中しIQの高さでカバー（ここはこういうことだなという判断）をして頑張っていたのですが、「ここからここまでは自宅です自分で読んでください」という課題が増え、てから、もういよいよカバーできなくなり、国語は最下位になってしまったそうです。

私が特に興味を持ったのは、そういう子を持った彼女のお母さまのことを聞くと、「母は全然気にしていないし、おめでたい感じなんです」という意味のことを言ったからです。それはまあ随分大らかな方だなと感じる一方、本当はどうだったのか、お聞きしたくなったのです。そして9月、お話を聞ける日が来しました。そして「やはりそうだったか」と感じました。実は、お母さまは心理学を学んで米国にも行っていたので、識字に問題がありそうなお母さまは小さい頃からわかっていて、あらゆるところに検査や相談にも行っていた。しかし日本ではディスレクシアという言葉などまだ誰も知らない時代で、LD確定とまではいかなかった。中3のときには検査も進化していて、リスニング7割、リーディング0割、というような明確な検査結果が出て、診断が確定した。特に小さい頃には、テストのたびに学校に呼び出され「ご自宅ではどういう指導をなさっているんですか」という聞き方が、咎められているようで本當につらかった。ただ、親として子どもの前で「あなたのこと苦しい」とは見せてはいけな

いと思い、「大丈夫だよ」と口にして能天気装っていた。そして、Nが寝てから夜

新刊情報

『勉強の面白さってなんだろう
君たちに伝えたい学びが楽しくなるヒント』

高濱 正伸 監修 (KADOKAWA)



ちょっと苦手だった勉強が一気に楽しくなるヒント、満載！好評を博した池上彰氏監修の『これから大人になる君たちへ』（KADOKAWA）に続くシリーズ刊として、『勉強がおもしろくなるヒント』を子どもたちに伝える一冊。勉強の大切さやおもしろさ、役立て方が楽しいイラスト図解でよくわかります。カバーイラストと巻頭マンガは人気イラストレーター・526（こじろー）氏が、文・イラストは、ほっこり系イラストレーター・山中正大氏が手がけています！

『アメリカの中学生が学んでいる
14歳からの世界史』

ワークマンパブリッシング 著 千葉 敏生 訳
(ダイヤモンド社)



個人的にコンプレックスの一つが歴史だ。この本に10代で触れられていたら、人生が変わったと思う。いわば「キャッチーなコラムの集積」なので、どのページも高度な内容なのに読みやすく、引き込まれる。「むっちゃ面白くてわかりやすい」というコピーに偽りは無い。これまでは、入試を前提として、どこか「ちゃんと感」から抜け出せなかった学習参考書界にとって、分岐点になるであろう。

高濱の本棚

中に一人泣いていたんです……。

心理を学んでいたからこそ、プロとも言うべき対応ですが、結果として本人は「母が元氣そうだから大丈夫」と思えたのだから、素晴らしい判断だったと言えるでしょう。

ここで言いたいことはシンプルです。「あなたのこととこんなに悩んでいる」という親の姿は、子の肯定感を棄損します。目が合ったときに「ああかわいいなあ」というまなざしで見てもえれば、本当に障がいを抱えていても、芯の自己肯定感を培えるのです。

Nさんの件と並行して、卒業生Tさんのインタビューでも共通する大切なものが見えました。

Tくんは、5歳上の万能の兄と対照的に、何も得意なことがないうえに学業（特に計算系）などでは明らかに遅れがある子でした。しかしおめでたいくらいに明るく前向きなご両親のもとでスクスクと育ち、舞台を創る側として最前線で大活躍しています。そんなTくんは、「遅れが著しい」と評価されていた幼い頃も、壁の穴からのぞくように世界を克明に見つめていて、その記憶を聞くとき少々怖いくらいによく覚えています。そして言っていたのは、1年生のときにお母さまが「Tのことを問題と思うはず嬉しそうに接してくれるのは、高濱先生と教室長のY先生だけでもね」と語った

ということです。親に加えて外の大人が肯定的に見つめることは、力になることなのだと思います。

最近はずぐに症状名がついてしまう時代ですが、それはそれとして、親やまわりの大人が忘れてならないのは、まなざしの温かさだと思えます。それは「可哀そうだけど大丈夫だよ」というような、配慮する目・憐れむ視線ではなく、ただ「また会えたね!」「かわいいなあ!」「君がいてくれて幸せだよ!」という、存在を祝福するまなざしなのでしょう。

花まる学習会 高濱正伸



これまでに高濱がインタビューした「卒業生物語」はこちら! ▶▶▶▶▶



『思考力キューブドリル 平面図形入門』『思考力キューブドリル 立体図形入門』 ：算数脳をよびさませ!』

(算数脳ドリル立体王新シリーズ)
高濱 正伸、水口 玲 著 (Gakken)

自分の手でブロック教材を組み立て、それ使ってさまざまな図形問題を解くことで、自然と“思考力”を身につけることができる1冊。解きこたえ満点、思わず時間を忘れて夢中になれる問題を収録しました。
花まる学習会オリジナルのブロック教材をつくれるキットつき!「立体図形入門」は「キューブキューブ」を、「平面図形入門」は「アイキューブ」をつくって、完成したキューブに手できり返し触れるなかで、図形センスをレベルアップ!「最後まで自力で解きたい!」を応援する「ヒント集」、懇切丁寧な「解答集」つきで、問題への理解が深まります。

：図形センスをとぎすませ!』

(算数脳ドリル立体王新シリーズ)
高濱 正伸、島田直哉、水口 玲 著 (Gakken)



花まるだより 2023年10月号 (令和5年10月15日発行)

編集・発行 株式会社こうちゅう
花まる学習会
発行人 高濱 正伸
企画・編集 久慈 菜津紀
編集 金井 彩・清田 奈甫
坂田 翔・高橋 奈穂
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社



花まるSTORY

サマースクール2023
現場レポート公開中！



フェリーで海を渡って
港町探検へ！



根本沙織・サリー | 子ども時代は4歳上の姉の影響でゴマキファン。筆箱・鉛筆・消しゴムとゴマキ一色でした。中学～大学時代はX JAPAN。福岡まで夜行バス13時間の往復でも観に行き、帰宅後首が痛い「がんばったな」と感じたそう。いまは音楽フェスが大好き。一番前のゴチャゴチャのぶつかり合いの空間がたまらないです。



目指せ！

火おこしマスター



次は雪国スクール！

雪国スクール、

はじま るよ



ふわふわの雪
積もるかなあ

真っ白な
世界



スキーに挑戦！
レベルアップを
目指して
チャレンジ！





こんげつ

今月のレインボータイム

【Yのスタンプ】

出題：坂田翔（花まる学習会）

解答はこちら！

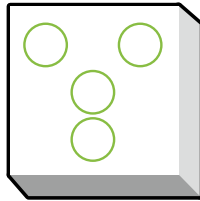


Yの字模様のスタンプを、いろいろな方向から押ししました。

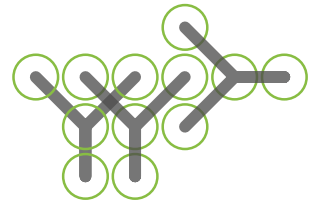
例にならってYの字を書き込み、すべてのスタンプの位置と向きを解き明かしましょう。

Yの字の線は重なってもOKですが、スタンプは重なってはいけません。

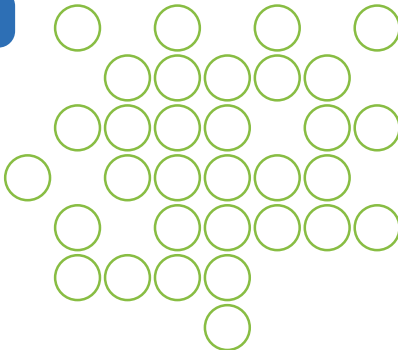
【スタンプ】



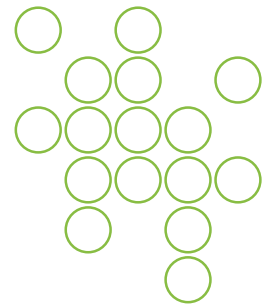
れい



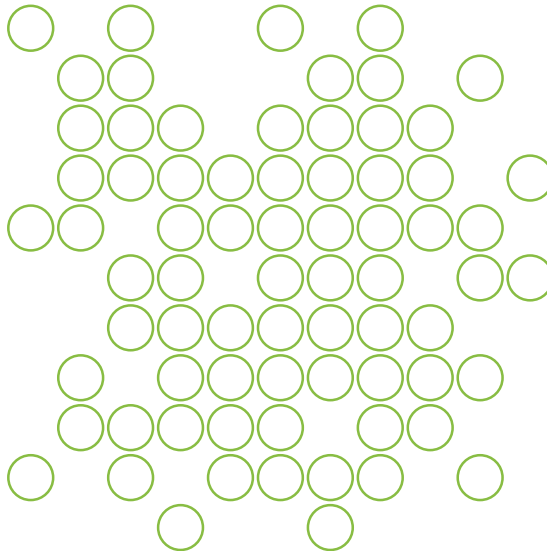
レベル 50



レベル 10



レベル 99



職人の無人島

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点でもでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

開拓団②

説明しよう。ダンチクの駆除は、大きく2パートに分けられる。①地上部分の刈り取り、②地下部分の掘り出し、である。単純なようだが、1株を駆除するのに大人4人がかりでも2〜3時間はかかる。ちよつと長めの映画だつてみられる長さだ。指輪物語は無理だが、東京物語はいける。刑事物語は余裕だ。

地上部分の刈り取りには、刈り払い機を使う。たまに「ブーン」とけたたしい音を立てながら、道路脇の雑草を機械で刈り取っているおじさんたちを見たことがないだろうか。あれだ。しかし、機械の力をもってしても作業は思うように進まない。なぜか。大量の割り箸を集めて、両端を輪ゴムで束ねたものを想像してほしい。そういう状態の箸は、切っても倒れなくなる。倒れずに残った箸はそれ以上刃が進むのを邪魔する。そうになると、同じところばかりが切れて、いつまでたつても切り進むことができない。これと同じことが密生したダンチクでも起こる。ではどうするかというと、切れた竹を引っ張り出しながら、地道に少しずつ減らしていく。すべての竹を切り終える、ようやく地下部分にアタックする準備が整う。ここまででおよそ1.5時間。ちよつと武田鉄矢のハンガーヌンチャク

が見られるあたりだ。

地下部分の掘り出しは、ひたすら穴掘りになる。切り株状態になったダンチクのまわりをスコップで掘り下げていき、地下部分を露出させていく。たまに「キンキンに冷えてやがる」「ビールのことを考えながら、地下労働施設で穴を掘っているおじさんたちを見たことがないだろうか。あれだ。ひたすらスコップを地面に突き立てて、腰の深さまで掘り下げると、ようやく巨大な地下茎が空中に浮いたラビュタのような姿を現す。ここまですておおよそ2時間弱。そろそろ笠智衆の「今日も暑うなるぞ」が聞けるあたりだ。

最後は、ノコギリを使って巨大な株を土ごとラザニアのように切り分ける。そして小分けにした茎の塊を引きちぎり、だんだん株を小さくしていく。最後の1つを抜き終えると、あとにはクレーターのよう大きな穴が残る。この穴の名は勝利だ。ひとしきり健闘を称えあつたあと、穴を埋め戻して整地すればテントが張れる「ただの地面」になる。これで作業は終わりだ。

「ただの地面」を作るためにどれだけ
の労力と時間を費やしたのかは、開拓
をともしした仲間にしかわからないこと
だ。その下に埋まっているのは、土では

ない。いつまでも続くように思われたスコップの音であり、冗談交じりに交わした会話の節々であり、木陰で飲む水のたまらなさであり、作業が進むたびに上げた歓声であり、泥だらけのツナギや汗まみれのTシャツのカッコよさだ。つまりはそれが開拓というもの。たまに無人島でタオルを首に巻いた、何やら楽しそうな大人たちを見たことがないだろうか？あれだ。

(おわり)

花まる学習会 橋本 一馬



開拓団のみなさんと。
穴の大きさが奮闘を物語る。

■無人島公式LINE

をチェック！
次回の開拓団企画は、
2024年6月の予定です。
楽しみにお待ち
ください。



カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のモデルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。2022年から広島に移住し、無人島開拓に携わっている。ソロキャンプが趣味。





勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小3・小1・1歳児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか



探偵、または、クイズ番組の回答者になったつもりで

子どもが発する言葉のなかで、「それを聞くと必ず『イライラする』』というものはありますか？ 私は、あります。「もうYouTubeを見る時間は終わりだよ」と声をかけたあとに、「次、何する？ 何したらいいの？」と言われたときは、ほぼ100%の確率で、イライラしてしまいます。

「いつもご機嫌な母でいるのは難しいからイライラするのは仕方ない」と、母9年目で、あきらめていた部分があるのですが、もう少しこのイライラを突き詰めてみようと思うきっかけがありました。

この花まるだよりでもコラム連載を持つ弊社のRinと話していたとき。

——親と子どもは違う生きもの。まったくタイプが違う場合は、「親側に、子どもにどう対応していいかの引き出しがない場合があるよね」と言われてはつとしました。

この「引き出し」というイメージが、私のなかのイライラとつながった感覚がありました。

私自身はひとりで遊ぶのが苦ではないタイプで、本を読んだり、庭や近くの公園をぶらぶらしたりすれば満足するタイプ。「次に何をしたらいいのかわからない」「自分で決められない」という感覚になったことがないように思うのです（忘れていただけかもしれないのですが…）。

だからこそ、「次、何したらいいの？」と子どもが聞いてくると、自分のなかにそれへの返答の引き出しがない（共感してあげられない）。また「自分で考えて動く子になることが大切」という想いがあるのに、目の前の子がかかき離れていることにも、イライラしてしまふ。なかなか根深い。

分析はここまでで、じゃあ何をどうしたらいいのかわなく、と頭の片隅に留めていたある朝。

登校する直前に、小1の長男が「今日、あさがおの鉢を学校に持っていきたい」と駄々をこね始めました。来週の月曜日までに親が学校に持ってきてください、と言われていた鉢。今日は、お母さんも仕事だし朝持っていくのは無理だよ、と伝えても、「やだ！ 絶対に朝持ってきて」とうちがあかない。

この段階で、私のなかにある既存の引き出しは、①なだめすかす

②無理なことは無理と、淡々と伝える

③無理って言うてるでしょー！と怒り爆発

ただ、「ベストアンサー」となりそうな引き出しはない」と俯瞰して考えることができたので、ちょっと引き出しを増やせないか、もう少し子どもを観察してみることになりました。

：そういえば、昨日の帰りに「中休みに色水で遊んだ」という話を楽しくそうにしていた。

：ん？ 手に、持って帰ってきた色水を持っている。

：つまり、鉢を持っていなくても、色水ができれば満足する？

：花の部分だけ摘んで持っていけばいいのでは？

と推理して、その提案を試みると、けろっと表情を変えた長男は「いいよー」と快諾してくれました。つまり「鉢を持っていきたい」の言葉の裏にかくれていたのは、「自分のあさがおで色水をした」という要求だった、ということ。一件落着です。

この事例で、私が子ども対応の「引き出しを増やせた」わけではないのですが、引き出しがない・共感できない、と思ったときは、観察力×推理力×ひらめき力などを使って、子どもの心に近づいて行くことを意識してみよう、と思われました。



『ぼくはめいたんてい (1) きえた犬のえ』

マージョリー・W・シャーマット 文
マーク・シーモント 絵
光吉 夏弥 訳
(大日本図書)

私が小さい頃、初めて夢中になった「探偵」の絵本かもしれません。何十年ぶりに子どもと読んだのですが、ちょっと突っ込みたくなるような独特な言い回し、設定、おいしいようなパンケーキ…。懐かしい気持ちでいっぱいになりました。



『ミルキー杉山のあなたも名探偵 (1)』

もしかしら名探偵
杉山 亮 作
中川 大輔 絵
(偕成社)

20冊以上出ているシリーズ、1作目は1992年出版なので30年以上も読み継がれている探偵物語。セリフやイラストのなかに謎解きのヒントがかくれているので、大人と子どもと一緒に観察力、推理力を鍛えられるかもしれません！

テーマ：探偵の絵本

堅苦しく考えず、探偵、もしくは、クイズ番組の回答者になったつもりで。

時には「そういうことだったのか！ この謎解き、難しすぎるわ!!」と、突っ込みを楽しみながら。

日々の子育てに、少しでも活きるTIPSになる、といいな、と思います。

花まる学習会 勝谷 里美



現代日本を代表するファンタジー作家 上橋菜穂子氏

作家であるとともに、文化人類学者としてオーストラリアの先住民アボリジニを研究しているという、異色の経歴の持ち主です。その幅広い分野の知識を織り交ぜた数々の作品は世界的に読まれていて、2014年には、その選考基準の高さから「児童文学のノーベル賞」とも呼ばれる国際アンデルセン賞の作家賞を受賞しました（2023年現在、同賞を受賞した日本人は1994年のまど・みちお氏、2018年の角野栄子氏のみです）。

古き時代の日本を舞台にした『狐笛のかた』、人と架空の獣の交流を描いた『獣の奏者』、謎の病をテーマにしてコロナ禍でも広く読まれた『鹿の王』……。上橋作品のどれもが、人類の運命、異文化とのつながり、生命の神秘といった深遠なテーマを壮大なスケールで描いていて、読めば自分のなかに、はるかな世界へと思いを馳せられる「まなざし」を得たかのような気持ちになれます。

『精霊の守り人』に始まる通称「守り人」シリーズは、そんな上橋作品の中でも特に人気のある物語。

舞台は架空の国・新ヨコ。主人公の女用心棒バルサは、目には見えない世界に住む精霊の卵を宿してしまった皇子・チャグムを救うため、追手の刺客や異世界の怪物から逃れながら冒険をくり広げます。先住民の伝承や建国神話の秘密など、文化人類学者ならではの知見も織り交ぜ、ラストに至るまで一気に読めること請け合の異世界ファンタジーです。

PICK UP



『精霊の守り人』シリーズ
上橋 菜穂子 著
(新潮文庫)



スクールFC
平沼 純

スクールFC
平沼 純

そんな「守り人」シリーズですが、実はところどころに描かれる、登場人物たちの食事のシーンが非常に印象的。上橋氏は物語のリアルさを高めるために、物語の細部——登場人物たちの住居や着ている物、食べる物——の描写には徹底してこだわったとのこと。

なかでも、バルサとチャグムが追手から逃れる際、「頼まれ屋」のトヤたちに買ってきてもらって食べる「ノギ屋の鳥飯」は実においしいそうです。

「……さて、じゃあ、昼ご飯をいただくかね」
トヤたちが買ってきてくれたのは、鳥飯だった。ジャイという辛い味の粉とナライという果実の甘い果肉をまぶしてつけこんだ鳥肉を、こんがり焼き、ぶつ切りにして飯にまぶしたもので、これもじつにおいしかった。トヤたちは、竹の筒に入った、まだ湯気がたっている熱いお茶や、果物なども買ってきていた。

(上橋菜穂子『精霊の守り人』新潮文庫より)

「守り人」シリーズには、今回紹介した「ノギ屋の弁当風鳥飯」のほかにも、バルサの友人タンダが作る「山菜鍋」、架空のパンである「バム」、宮廷の宴で出される「鳥のから揚げ宮廷風」など、魅力的な料理が多く描かれています。それらを再現したレシピは、『バルサの食卓』（新潮文庫）という本に書かれてありますので、もしご興味があればぜひ一読をおすすめします！

とり飯

作業時間：45分 難易度：★★★★☆

レシピ・写真提供：料理家 江口 恵子 (natural food cooking)



材料

とりもも肉……2枚
りんご……1/2個
玉ねぎ……1/4個

A：酒、みりん、醤油……各大さじ1

醤油……大さじ2

酒……大さじ1

ごはん、レタス……各 適量

* 粉山椒……好みて適量

作り方

- ①鶏もも肉に皮面からフォークを数か所刺す。
- ②玉ねぎとりんごはすりおろしてAの調味料とよく混ぜ、①の鶏肉を15分ほど漬け込む。
- ③フライパンをしっかりと熱し、植物油 大さじ1をしく。②の鶏肉を皮面から入れ、ヘラやトングなどで押さえながら強めの中火で全体に軽く焦げめがつくまで焼き裏返す。裏面も同様にして焼いたら、酒をまわしかけ蓋をして弱火にして15分蒸し焼きにする。
- ④蓋を取り、醤油をまわし入れ水分を飛ばしながら2～3分煮詰めて全体にタレを絡める。
- ⑤器またはお弁当箱にごはんを入れ、千切りにしたレタスを敷く。食べやすい大きさに切った鶏肉を盛りつけ、タレをたっぷりかける。好みて、粉山椒を振る。

子どもが食べる場合は、ごく少量の粉山椒を加えておきましょう。

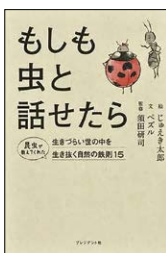
右田優羽・みぎー | 小1のとき、やるべきことをやらずに怒られました。そのとき、母の怒りっぷりについてフフと笑ってしまったのですが、そのせいで空前絶後の迫力で激しく叱られました。「母を怒らせるとこの世で一番怖い」というショックに近い学習をしてしまい、その後しばらくは、あまり主張しない人生を過ごしました。



『ズッコケ脅威の大震災』

那須正幹 作
前川かずお 絵 高橋信也 絵 (ポプラ社)

「こんなハードなズッコケ、読んだことない！」ミドリ市で M 7.2 の巨大地震が発生。ハチベエたちおなじみの 3 人組が何を思い、どう行動するのかを、震災後の町の様子や人々の心理状態も絡めて克明に描いた一流のシミュレーション小説。「もしも自分が住む町で災害が発生したら？」とイメージするための一助に。関東大震災から 100 年後の今年、ぜひとも解いてもらいたい一冊。



『もしも虫と話せたら』

昆虫が教えてくれた生きづらい世の中を生き抜く自然の鉄則 15

じゅえき 太郎 絵
ペズル 文
須田研司 監修
(プレジデント社)

職場の人間関係に悩む太郎は、夏休みに田舎に帰省した際、雑木林のなかでたくさんの虫たちと対話を始めます。「《常識》って割と《偏見》」「夢中になると不満を抱くヒマがなくなる」「傷ついても再生して前に進めるのが真の強さ」など、地球上の生き物の「大先輩」である虫たちからのメッセージがどれも深い。続刊の『もしも鳥と話せたら』『もしも恐竜と話せたら』もあわせておすすめ。



『東京湾 海中高校』

あおやぎ 碧人 著
(講談社)

「もしも海のなかで生活できるようになったら？」を描いた近未来 SF 小説。「海流発電」を利用して東京湾に建設された実験都市・千葉県海中市。そこで生まれ育った夏波たち高校生の青春模様や、やがて彼らに訪れる運命が、不思議な緊迫感をもって描かれます。巻末に記された海中高校の校則一覧や架空の「J」R 海中線の路線図など、詳細な物語設定の説明もおもしろい。

～「もしも」で始める思考実験！～



『はくぶつかんのよる』

イザベル・シムレール 文/絵
石津ちひろ 訳
(岩波書店)

「もしも博物館の展示品が動き出したら——？」閉館後のフランス、コンフリユアンヌ博物館。一匹のチョウがひらひらと飛び回ったのをきっかけに、展示されていた「ものたち」が次々と動き出します。『あおのじかん』や『シルクロードのあかい空』などの現代絵本で人気の作者による、珠玉の一冊。人がいなくなったあとの博物館の不思議な一夜が、鮮やかな色彩で幻想的に描かれます。



『仕掛絵本図鑑 動物の见ている世界』

ギョーム・デュブラ 著
渡辺 滋人 翻訳
(創元社)

「もしも動物になれば、この世界はどう見えるのか——？」近眼な猫に、正面がよく見えぬ馬、動くものに反応するハエ……。数々の生き物たちが、身の周りの世界をどう認識しているのかを、鮮やかなイラストで表した画期的な一冊。「現実世界には多様な見方がある」「自分の见ている世界が絶対ではない」と気づかせてくれる、稀有な仕掛け絵本。



11月 (第7回)「本xモンスター ～ようこそ『この世ならざる者たち』の世界へ～」

おばけ、幽霊、妖怪、怪物……。子ども本に登場する、そんな「アナザー・ワールド」からやってきた使者たちは、文明社会で生きる私たちに何を語りかけるのか？ ちょっと怖いけれど魅力あふれる、「この世ならざる者たち」の世界へとご案内します。子どもたちの考えた「オリジナル妖怪」や、ゲストによる「怪談落語」もお楽しみに！

11/16 (木)・11/18 (土) 10:30 ～ 12:00
参加費 一家族 500 円 (税込)
申込締切 開催前日の 19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2023/>



天井を眺めながら

サマースクールが終わり、何日か過ぎたある日、私は原因不明の高熱に倒れました。一部の教室のみなさまには「迷惑をおかけしてしまいました」が、幸いすぐに熱は下がりに元気になることができました。

それにしても病に臥し、見上げる一人暮らしの天井ほど何のおもしろみもないものはありません。「咳をしても一人」と尾崎放哉の有名な一句をつぶやいてみたところで、空しさを感ずることができないほど空しく終わります。男一人の発熱は、本当にどうしようもないものです。

体は悲鳴を上げていても脳だけは働きたがるようで、夢かうつつか、脈絡のないことばかりが思い浮かんで消えていきます。天井は幻覚のスクリーンのようになりますが、映し出されるものは仕事や人間関係など現実につながっているものばかりです。子どもの頃、病気で休んだ日に見上げた天井は、そうではありませんでした。天井の板の木目の模様がいろいろなものに見えてきて、熱で朦朧とする意識の私にいろいろ語りかけてきたものです。

おそらく記憶から消されているだけなのでしょうが、幼い日に病気で臥していた日を思い出しても、あまり苦しかった記憶がありません。それどころか甘く温

かい印象があります。見守ってくれている家族の温かさが、病苦を上回っていたのでしょうか。

風邪で休んだ日は、家族がみんな優しくしてくれました。父が仕事から帰ってくると、寝室の襖越しに両親の会話が聞こえました。

「たかしの熱は下がったか？」と聞く父。「代われるものなら代わってあげたいけどねえ……」とつぶやく母。

帰ってきた父の第一声が自分の名前であつたことが、珍しく何だか嬉しく思いました。

母のつぶやきを聞いては（お母さんが自分の代わりに倒れたら、誰も料理できなくなっちゃうから、このままが良い……）と心のなかで静かに思いました。

熱にうなされながら見上げた天井の景色は、いまでも細かく覚えてます。ボーっとした頭でその模様を見ながら物語を考えて過ごしていました。熱が上がってくると天井がバンと目の前に近づいたり遠ざかったり、最後には部屋がひっくり返って、天井のほうに自分が寝ているような奇妙な幻覚を見たこともありました。

病気のときは食べ物も特別でした。すりおろしたリンゴを食べることができた

のです。あまりにおいしいので「元氣になっても食べたいな」と思いましたが、元氣なときに出ることはありませんでした。そんな他愛のない昔のことを、一人暮らしの天井を眺めながら、思い出していました。

成人してしばらく働いたあと、私はケガをして数週間ほど実家で療養生活をしていたことがあります。自分のことは自分でしていましたが、子どもの頃の生活を思い出しました。社会人になり家を出てから、初めて家族とゆつくり過ごせた時間でした。

そのとき、花まるの野外体験で子どもたちを引率している話を何気なくしました。すると母はふいに真剣な顔になり「人の大事なものを預かるのだから、十分気をつけないとね……」と言いました。預かった大事なものに傷をつけたら、私が大切にしているものすべてを傷つけることになる。母に言われなくても覚悟を持って臨んでいる仕事ではありましたが、「大事なものの」の重みを誰よりも知っているであろう母の言葉だけに、胸に響きました。

十数年前、車の教習所でベテランの高齢の女性教官から言われたことを思い出

しました。

「あなたがたはまだわからないと思います。がね、親というのは、息子や娘が、車で出かけたとなると、ちゃんと帰って車庫に車を入れるまで、ずっと心配しているものなんです。子どもがおじさん、おばさんになってもね、親というものはそういうものなんですよ」

こんな話が記憶に残り続けたのは、自分にとって意味のあることだったからでしょう。サマースクール、雪国スクールの間も、保護者の方は常に心配をされているかと思えます。途中、体調不良のためやむなくお迎えをお願いしたご家族の方もいらつしますが、大きな事故もなく今年のサマースクールも終わりました。そして自分が安心して終わるのではなく、私にも遠くで心配している両親がいます。野外体験の引率はいつまでも両親を心配させる、親不孝な仕事かもしれません。だからこそ「無事、戻りました」と両親にも報告したいと思っています。

花まる学習会 山崎 隆



山崎 隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、だだっぴろい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を眺めては恐竜の世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的地もなく出かけることを楽しみにしている。

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

50

見ていてほしい
—主体性を引き出すコツ②—

失敗ができると思える場所で、人はもっとも挑戦ができます。

人とは違う意見を持つても、自分らしい表現を追求したとしても、作者の思いと鑑賞者の感じ方が異なっていたとしても、どんな意見や感情もすべて等しく敬意を持つて扱ってもらえる、という体験をした子どもたちは、「人と違うこと」を当たり前前だと感じはじめます。

みんなが同じである必要はなく、その人らしさを尊重してもらえる世界では、他者との差異を、自分にはないオリジナリティだと、大切に思うことができるのでしょ。

そういう意味で、彼らが考えたこと、思ったことを素直に出せる空間というのが、最もクリエイティブに持っている能力を伸ばすことができる環境といえます。

「こころを解放させる」と言ったりもしますが、どんなチャレンジも受け止められるという場で、何が良いと思うのか、あなたはどうか感じるのか、とことん自分と向き

合い、自分の頭で考えることを促し続ける場では、子どもたちは自分を信じて、失敗を恐れず、次々と壁を突破していきます。

ある5歳の子が、作品を見て「ここがこわれてるけど、美しいからいいんだよね」と言いました。自分が思った「美しい」という気持ちを、大切にしたいと認められている環境で、その子は自分の価値観に自信を持って、言葉にすることができたのでしょ。もしも保証されていなかったら、それは失敗だと決めつけるほかないかもしれません。

美しさは、人それぞれ違うし、それでいい。

たとえば石ころを拾ってきたときに「汚いものを拾わないで」と声をかけたとしたら、ほかの石と「何かが違う」と感じて手にしたその石が、簡単に汚いものになっちゃってしまふ。そうするとその子は自分の感覚に目をつむるようになります。大人の「こういうものだ」は、ときに、その人にしかない感受性にふたをすることがあるのです。

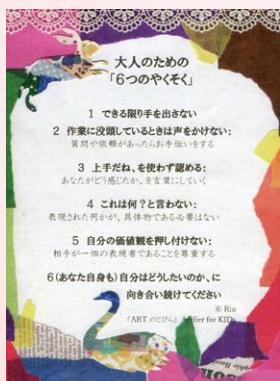
生活のなかで、子どもたちが何か意見を言うときには「あなたはこう思うんだね」「お母さん／お父さんはこう思ったよ」というように、大人自身の感じた気持ちも、同時に伝えられると良いでしょ。人にはそれぞれ感情や思いがあり、どれも大事にした

いというその「意識」が、子どもたちの心に届くはずです。

先日の保育園での Atelier for KIDS クラス。今日は Rin 先生の言葉に注目してみました。いつものように肯定する言葉、子どもを見る表情。「自分の気持ちを優先していい」「失敗はないよね」いつもワークのあとは、ほのぼのとした雰囲気になります。それは、不安なく自分らしく過ごせ、認められ、居場所があるからだと思いました。

園長先生が振り返りで気づかれたことは、私たちが自由に、自分らしさを追求していくときに大切なことを、捉えていました。

Rin (井岡 由美)



『こころと頭を同時に伸ばす A時代の子育て』
(実務教育出版) より

Atelier for KIDS



全国から
参加可能!

Rin (井岡 由美)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会年中・年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』(実務教育出版)ほか。

Rin さんへの SNS など
すべてのリンクは
こちらから▶



11/19 日 10:30 ~ 12:00 毛糸の不思議ピースクロス

対象 年長～中学生

定員 対面 (お茶の水花まるラウンジにて) 20 名

オンライン 8 名 (ハイブリッド開催)

参加費 対面 2,800 円 / オンライン 3,100 円 (郵送料、税込)

申込締切 11/1 (水) 19:00 <https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>

船水萌・ふなっしー | かなりのうっかりさん。小4では、下だけパジャマで登校して一日過ごしたこともあります。小6のときはランドセルを持たずに登校。男子に「おー、船水ランドセル持たずに来たのかよ」と見つけられ皆に広められました。母も恥ずかしかったらしく、ランドセルが見えない大きな袋に入れて届けてくれました。

とある花まるの先生が、 わが子の中学受験に直面した

その7 下がる偏差値とパンドラの箱
(6年生11月)



秋は怒涛の模試シーズン。オープン模試の結果を見てみると、なんと、9月、10月、11月と偏差値が5ずつ下がっている……。いままでは乱気流だったのが、この時期に下がり続けるとは、なにかのホラーだろうか!? サメ映画の効果音を思い浮かべて、しばらく現実逃避してみる。一息ついたのち、志望校も考え直しかなあと、さっそく担当のT先生に面談を申し込むことに。

すると、T先生は開口一番
「やっちゃいましたね〜くん」と穏やかな顔でほほ笑んだ。え、そんな楽観視できる状態ですか、これ!?

「いつもは取れている問題ですけどね〜」ジェントルマンなT先生のいい声に、ささくれた心が少しずつ癒されていく。確かにオープン模試は散々だが、学校別の模試では、60%合格率が出ているときもある。そして9月、10月の段階では、まったく合格圏内にひっからなかった過去問演習も、11月に入り、ようやく合格最低点を超える年度も出てきた。相変わらず過去問解きなおしのコメントは、「国語の論文を頑張る」などとの外れで、「いつまでに、何を、どう、頑張るのさ!」と力いっぱい突っ込みたくなる状態だ。面談の結果、迷いつつも、いったん志望校群はこのまま変えないことになった。

面談後、しばし考える私。スケジュール管理と体調管理に専念してきたが、今後も勉強の身には手を触れないべきか、少しは手を出すべきか……。一度でも、できていない中身まで見ちゃったら、どうしても手や口を出したくなるよなあ。

ふと、Nちゃん親子のことが頭をよぎる。保育園の頃から仲良しのNちゃんは、Sにとっては幼馴染の女の子である。まっすぐ素直で、特訓が大好きで、いつでも全力投球。Nちゃんのママとは、母たちの息抜きとして、先日おしゃべりしたばかり。

志望校の決める方は、ご家庭の方針で本当にさまざまだが、Nちゃんのおうちは、4年の頃からいくつもの学校をめぐる結果、ミッション系の女子中高は合わないと思つたようで、共学&大学付属校に志望校群を定めていた。そんなNママいわく、「中学受験は、後ろにいる、大人の勝負でもあるわよ!」と。確かに中学受験にはそういう一面もある。夏まではスイミングの全国大会参加と受験勉強を両立してきた、頭のよいNちゃんだが、「応仁の乱」の漢字をなぜか先日間違えたという。暗記科目は特に、スキマ時間を使って繰り返し一問一答ができるように、派生分野も含めて、母が取捨選択しているとのこと。似た者タイプで努力家のNちゃん親子なら、このまま受験終了まできつと二人三脚で突っ走ることだろう。

「焦った親が急にいらんことをはじめる」とはよく言われるが、さてわが家はどうか。あとから後悔するよりはと考えた拳句、恐る恐る過去問演習のSの回答を見ることにした。結果、もうすぐ12月なのに、このレベル!? と愕然とする。とに、やはりというべきか、パンドラの箱を開けてしまった気分だ。たとえば、社会の回答の一文が長すぎる。二百文字を句読点なしで書くなんてウンでしょ!? めまいがする……。

「えっこれ、主語と述語が一致しなくなるし、短い文に区切って書いたほうがいいよ」ちょうど塾から帰ってきてごはんを食べるSに話しかける。が、疲れていたのだろう。「え、なんで」と話を聞くとうしろに。

「いや、だからさ……」押し問答になりかけ、しまいにSは「オレはこれがいいと思うているの!」と声を荒らげはじめる。つい私もイラッとして、「こんなんじゃ受からないよ!」と、禁句のど元までせり上がってくる。が、どっぴかこうにか、

我慢・がまん・ガマン……。

一呼吸おいて、お互いが疲れている夜に話す事柄ではないな、と反省。マイペースなSといえども、思春期に入りかけ。親に上から言われると、つい反発したくなるだろう。私だつてそうだった。あー、失敗、失敗。この件は、私からではなく、FCの先生から言ってもらって解決してもらったことにした。

さて、ガッツリ入り込むほど、親目線では焦りがつのつてくるこの季節。ついつい、足りていなさそうな分野の問題集をネット検索してはポチリたくなる衝動が湧き上がってくる。手元にある問題集を繰り返したほうが効果的だろうから、実際に取り組めるかは別だけれど、と言い訳しつつ、検索の手を止められないまま、11月の暗夜は更けいく……。

家族構成

私



東京都内の私立中高一貫女子高出身。過去にはスクールFCで小中学生の英語も教えていた、花まるの先生。アンガーマネジメントの「イラっときたら6秒間数える」を実施してみているが、毎回うまくいくわけではないのが困ったところ……。

夫



子煩悩/Vi。算数は東京出版の『中学への算数』なども買い込み、ペラペラめくっては、解けそうな問題を一人で楽しんでいる。点数が取れるかどうかは別として、Sがまだ算数好きでいられるのは、夫の影響かもしれない。

長男 S



4歳から生粋の花まるっ子として過ごす。志望校は、部活・家からの近さ・本人の希望・学校理念の魅力・偏差値の5点で最終決定。変わらず22時就寝、6時起床で身長がグングン伸び続けている。

次男 Y



お調子者の保育園児。なくて七癖。寝る前は母のひじをコネコネコネコネ……ひたすら触っている。きつとあともう少しと思いつつ、はや4年。終わりは唐突に訪れそうな予感。

花まる学習会 川波朋子

やさしい数字

小学生にとったアンケートで「好きな科目」「嫌いな科目」のどちらでも同じ科目が1位になる、ということが10年ほど続いているようです。ご想像の通り、「算数」です。(学研教育研究所「小学生白書」より)

小中学校の科目で何が一番好きだったかと聞かれたら「算数」「数学」と私も答えます。現場で子どもたちと接している感覚では、低学年のうちは算数が好き!むしろ何でも好き!と声にする子は多く、学年が上がっていくと(おそらく割合や立体の体積の単元で、計算が複雑になるにつれて)算数が嫌いとしる子が増えてきます。中学生から数学になったタイミングで取り戻す子もいれば、引きずったままに高校生になって「数学がイヤなので、文系にいきます」とトドメの一言を放つ卒業生は何人もいました。

2年生の計算で、繰り下りの引き算を扱う回がありました。25-17を筆算で書いて、「このままだと5から7の引き算ができないから、隣から10借りてきて……」と誰もが聞いたことのあるフレーズを使って計算のやり方を説明していたときのことです。

「えっ!?……やさしいじゃん」

男の子のぼそりつつぶやく声が聞こえました。友達が鉛筆を忘れたときや、傘がないときに貸してあげるというのは、やさしいこと。「借りる」という音を聞いての反射的な一言だったのかもしれないですが、数字に対してもこういう感覚を抱いているのはなんともおもしろいと感じました。計算自体は複雑になっていたとしても、少なくとも「嫌い」という要素はいまのところはなさそうです。

そんな一件から思い出した小話をひとつ。142857という数字があります。これがなんともおもしろい数字で、

$$\begin{aligned} 142857 \times 1 &= 142857 \\ 142857 \times 2 &= 285714 \\ 142857 \times 3 &= 428571 \\ 142857 \times 4 &= 571428 \\ 142857 \times 5 &= 714285 \\ 142857 \times 6 &= 857142 \end{aligned}$$

と、かけ算していくと「142857」の並びがぐるぐると現れるのです。さて、この文面を読んでいただいているみなさまには、ぜひ電卓を手にとって×7の計算結果を見届けてほしいところです。繰

花まるコラム

2023年10月

り下がり「やさしさ」ゆえの計算なら、このかけ算はひょうきん者というべきか、空気が読めないのか……。

4年生で「大きな数」(億・兆が出てくる単元です)で苦戦する子たちから、「1桁くらいずつたてどうでもいいじゃん!」という主張がありました。

た。「120億」が正解の問題で「1200億」と答えて×になったことにご立腹の様子です。

まず「億」という漢字が書きづらいことで、すでにイライラモード。そもそも「億」という単位の数字は日常でそう頻繁に使うものではないので関心も薄い。企業の予算レベルの数字でし、テストの点数でお目にかかることはまずありません。

地球が誕生してから46億年
日本の人口は1億2千万人
年末の宝くじ等賞金が10億円

あたりがぱつと浮かんでくる「億」

の数字でしょうか。このあたりから1桁ずつてしまったら大変!地球誕生から4億年なら、ようやく海ができたかどうかという頃です。生命らしい存在はまったくありません。日本の人口が1億だったなら、学校の運動会は満員の東京ドームのような人だかりに。宝くじの賞金が100億

円なら……これは嬉しい!広がる夢は10倍以上です。

そんな話をしてからと笑いあったあと、彼らは「ほんの少しだけ丁寧に扱ってあげないとな」と思ってくれたのか、ゆっくりと続きの問題に取りかかったのを覚えていきます。

できるかできないかはもとより、算数が好きになるには「おもしろい!」と思える経験があることが必須です。学術的に正しいことは教科書をはじめたくさん本に書いてありますから、経験を積んだ大人たちがどうやっておもしろく見せて・伝えていけるかが鍵を握っていますね。教室の子どもたちにも、縁あってかわってくださる大人のみなさまにも、算数のおもしろい世界を伝え続けることを使命に、明日も教室に行っていきます。

花まる学習会/スクールFC 梅崎隆義



研究者から
塾講師に転身

インタビューを
ラジオでお届け!



▲Voice/幸せな受験ラジオ▲

うめざき たかよし
梅崎 隆義

スクールFC
南浦和校 校長

はな まるの教室長を紹介します！



花まるファミリー

オンライン アルゴ …アルゴクラブ アノネ音楽教室 GONOU …GONOU 囲碁教室 無人島 FC …スクールFC Flos …フロス

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



いしす たかし
石須 孝志

東京西 埼玉県



おかもと ゆうき
岡本 祐樹

東京東 アルゴ GONOU 神奈川県



おせ どりょう
尾瀬戸 涼

東京南 千葉県



きたまる としき
北丸 隼己

中京 愛知県



くさかい みゆ
草替 美柚

東京西 アルゴ 神奈川県



くりばやし えいち
栗林 英一

東京東 FC 東京都



ささき まさね
佐々木 真音

東京東 島根県



とみなが まこ
富永 真子

オンライン 茨城県



はだの たつや
秦野 達也

神奈川北 アルゴ 神奈川県



はるき みつゆき
春木 満之

東京南 島根県



ふじえだ しおり
藤枝 詩織

茨城 茨城県



まちだ あきひろ
町田 光優

東京南・千葉 千葉県



むらた ひろのり
村田 寛典

千葉 千葉県



やなぎさわ はやと
柳澤 隼人

東京東 FC 東京都



やまね ひろとも
山根 大知

東京南・神奈川北 鳥取県

出張！
FC
ファミリー



いっしき きょうすけ
一色 恭介

スクールFC
吉祥寺校・石神井校 校長

算数が大嫌いだったのに
今はプロの算数講師

インタビューを
ラジオでお届け！



▲Voicy! 幸せな受験ラジオ



たかはま まさのぶ
高濱 正伸

熊本市

リーダーネーム

名前
所属

出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね！

10月の誕生花は ガーベラ



高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめで紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他己紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまるっと紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに！